

ふ く い ん し ん ぶ ん

# 福音新聞

Good  
News

NO.10



2016

発行：犬山恵みキリスト教会 ホームページ：<http://www.tsukuno.com/inuyama/>

『「キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世に来られた」ということばは、まことであり、そのまま受け入れるに値するものです。』（聖書）



## 「すべての人に聖書を！」

16世紀のイギリスで、聖書を英語に翻訳するために命をかけたウイリアム・ティンデルという神学者がいました。当時、聖書は司祭など限られた人しか読むことが許されませんでした。また貧しい農民たちはラテン語・ギリシヤ語で書かれた聖書を読めなかったため、寄付の金額によって救いが決まるといって、墮落した教会の主張をそのまま信じていました。司祭であったティンデルは、この聖書を民衆でも分かる標準的な英語に翻訳しなければならぬと思いました。彼は捕まれば異端裁判で処刑されるといって危機の中、聖書の翻訳を進め、ついに印刷までこぎつけました。しかし、ついにティンデルは捕まり、異端として火刑に処されることになりました。彼は柱にくぐられ、燃える火の中で「主よ、英国王の目を開きたまえ！」と叫んで息絶えました。それから75年後の1611年、英国王は英訳聖書の編さんを命じました。この翻訳の多くはティンデル

の翻訳が元になっていて、農民や女性、子ども誰でも手に取り、読める聖書となったのです。ティンデルは聖書がただの書物ではなく、生きておられるまことの神の御言葉であると感じていたので、命をかけてひとりでも多くの手に手渡そうと願ったのです。

## 「特別な本である聖書」

聖書は世界中で毎年ベストセラーです。世界中で1年間に6億3千3百万冊発行された年もあり、日本だけでも年間600万冊以上も発行されています。また2009年の統計によれば2479の言語に翻訳されています。これだけ多くの聖書が翻訳・発行されるために、クリスチャンたちは多くの犠牲を払ってきました。中にはティンデルのように迫害され、殉教の死をむかえた者たちもいました。そ

こまでして彼らが伝えたかった理由は、神が、聖書を通してすべての人が知るべき大切なことを語っておられるからでした。そしてそれは皆さんのいのちに関わる大切なことなのです。

## 「聖書が示す人間の姿」

聖書には、神が『人をご自身のかたちに創造された』と書かれており、ご自身のご性質に似せて造られました。また神は人間のためにあらゆる生活環境を整え、生かしておられるのです。『天を創造した方、すなわち神、地を形造り、これを仕上げた方、すなわちこれを堅く立てた方、これを茫漠としたものに創造せず、人の住みかにこれを形造った方、まことに、この【主】がこう仰せられる。「わたしが【主】である。ほかにはいない。』（聖書）人間は神が

創造されたものを通して神の存在をはっきりと認めることができるはずです。ところが人間は、その御方をまことの神として崇めず、全く無視し、軽んじています。聖書には『それゆえ、彼らは神を知っていないが、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなりました。彼らは、自分では知者であると言いつつながら、愚かな者となり、不滅の神の御栄えを、滅ぶべき人間や、鳥、獣、はうもののかたちに似た物と代えてしまいました。』また『：彼らが神を知ろうとしたがらないので、神は彼らを良くない思いに引き渡され、そのため彼らは、してはならないことをするようになりました。』と書かれてあります。

神は義なる正しい御方であるので、罪人をさばかれます。すべての罪人は死後、永遠に続く火の池に投げ込まれ、そこで苦しみ続けなければならぬのです。是非、神が聖書を通して示しておられるさばきを、ご自身のこととして真剣に考えていただきたいのです。

## 「聖書に記されている救い」

神は私たち罪人を死後のさばきから救うため、ご自身の愛するひとり子であるイエス・キリストをこの世に遣わされました。聖書にはキリストについての預言が約350あり、すべてが成就しています。その中に『しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によつ

て、私たちはいやされた。私たちはみな、羊のようにさまざまい、おのおの、自分かつてな道に向かつて行った。しかし、**【主】**は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。』（旧約聖書）というものがあります。これはキリストのご誕生の約700年前に書かれたものです。つまり、神は罪人のためにキリストを救い主としてこの世に遣わすことを定めておられたのです。預言どおりキリストは罪人の身代わりにさばきをお受けになるために十字架に架けられ、死なれました。そして死後3日目に墓の中より復活され、40日間、弟子たちの前に何度も姿を現され、天に行かれました。このイエス・キリストを自分の救い主と信じ受け入れる人は誰でも罪を赦され、死後のさばきを受けることなく、永遠に続く天の御国に行けるのです。復活を目撃した弟子たちは命をかけたキリストを宣べ伝えました。またその中の幾人かは新約聖書を記すために用いられ、キリストの復活に関する彼らの証言についても書かれています。もし、聖書が神の御言葉ではなく、人間の空想や狂言によるものとしたら、聖書はこれだけ多くの人の目に触れているのですから、早々に否定され、この世から消え去っていても不思議ではありません。ところが、今日でも世界中で多くの人々に読まれ、その教えが宣べ伝えられています。あなたも聖書が神の御言葉であると認め、イエス・キリストを救い主として信じ受け入れてください。そのことをお勧め致します。

# ☆特別伝道集会・聖書講演会のお知らせ☆

特別伝道集会(場所:犬山恵みキリスト教会)

5月21日(土)

PM 2時30分

AM10時30分

PM 2時00分

5月22日(日)

5月23日(月)

AM10時30分

## 聖書講演会

日時: 5月21日(土) 午後7時~

場所: 犬山国際観光センター“フロイデ”3F 会議室3

講師: 大阪府・白鷺キリスト教会 中尾 優彦 牧師

各回託児を用意しています。お子様がおられる方も遠慮なくお越しください。  
参加費などは一切必要ありません。駐車場もありますのでお車でどうぞ。



## 教会へのアクセスマップ



## 定例集会案内

### ◎日曜日

教会学校 AM 9:30

礼拝 AM10:30

聖書の学び会 PM 1:00

### ◎水曜日

聖書の学び会

と祈り会 PM 7:30

### ◎木曜日

婦人会 AM10:30

### ◎土曜日

聖書の学び会 PM 3:30

お気軽にお越し下さい。

## 犬山恵みキリスト教会

牧師 畑川 洋一郎 副牧師 矢下 充啓

〒484-0061 犬山市前原向屋敷95-135

TEL (0568) 55-5906



※ 当教会は、エホバの証人(ものみの塔)、統一協会(原理研)、末日聖徒キリスト教会(モルモン教)などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。尚、これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡下さい。